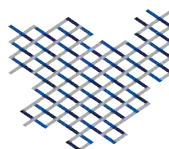


報道機関各位



Kitakyushu  
SDGs Start up  
Ecosystem  
Consortium

令和3年9月22日  
北九州市産業経済局

## 認定ベンチャーキャピタルと連携して支援していく スタートアップ企業(4社)を紹介します！

北九州市では、市内スタートアップの成長と市外スタートアップの集積による本市産業の活性化を図るため、本市が認定したベンチャーキャピタル（以下「認定VC」という。）から投資を受けて事業化を目指しているスタートアップ企業に対して、北九州市内での事業化に要する費用の一部を補助（最大2千万円を補助）するとともに、委託業者によるハンズオン支援を行い、スタートアップの成長を促す事業を立ち上げました。

この度、令和3年度の支援企業が決定しましたのでお知らせします。支援企業が本市を拠点に開発等を進めていきますので、取材方よろしくお願ひします。

記

### 1 支援企業について(市外企業は北九州市内に拠点を設置)

- (1) KiQ Robotics 株式会社（北九州市小倉北区）  
誰でも使える産業用ロボットの開発を行っている企業（別紙1）
- (2) 株式会社クアンド（北九州市八幡東区）  
遠隔ビデオ通話ツールを活用して製造業等のDXに取り組んでいる企業（別紙2）
- (3) ザ・ハーモニー株式会社（福岡県飯塚市）  
AIを活用した認知症コミュニケーションロボットの開発を行っている企業（別紙3）
- (4) 株式会社レポーン（東京都渋谷区）  
AI・IoTを活用しておいをデータ化する技術を用いた製品開発を行っている企業（別紙4）

### 2 認定VCについて(令和3年度)

株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ	DRONE FUND 株式会社
ALL STAR SAAS FUND2 GP	日本ベンチャーキャピタル株式会社
QB キャピタル合同会社	ひびしんキャピタル株式会社
GxPartners 有限責任事業組合	三菱 UFJ キャピタル株式会社
栖峰投資ワークス株式会社	株式会社みらい創造機構
株式会社ドーガン・ベータ	山口キャピタル株式会社

### 3 市長面会等について

支援企業と認定VCの市長面会を10月下旬に予定しております。面会のほか、支援企業の取組説明を行うことも計画しておりますので、取材方よろしくお願ひします。

（日程等の詳細は、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、別途ご案内します。）

また、令和4年3月には、支援企業が取組成果を発表する成果発表会を開催する予定です。（別途ご案内します。）

#### 【問い合わせ先】

北九州市産業経済局スタートアップ推進課

担当：鎌田（課長）、岡本（係長）TEL：551-3605

## 「KiQ Robotics 株式会社」について

### 1 「KiQ Robotics (キックロボティクス) 株式会社」について

「世界一働きやすい生産現場をつくる」のビジョンのもと、産業用ロボットを誰でも活用できる世界を目指しています。つらい単純作業から人々を解放し創造的な仕事に取り組む人々の幸せに貢献します。

### 2 今回の取組について

本補助事業では、「作業前の写真」と「作業後の写真」を登録するだけで、自動的にプログラミング可能なロボットパッケージ「Quick Factory (クイックファクトリー)」を展開します。導入から運用まで専門知識のない方でも簡単にロボットを活用することが可能となります。北九州市内の企業を中心に導入を進めながら製品をブラッシュアップし、来年度以降には量産し広く利用いただきたいと考えています。



ロボット、ビジョン、ハンドがセット。オールインワンで提供します。



「箱詰め作業」

箱詰め前と箱詰め後の写真を登録するだけ。必要なロボット動作のプログラムを自動生成します。

### 3 代表からのコメント (代表取締役 滝本 隆)

会社名の「KiQ」は北九州を意味しており、北九州からロボット未来都市を実現したいという思いで設立しました。自動化に関する課題解決に正面から取り組み、誰でも簡単に自動化が実現できるロボットパッケージを世界に届けます。



### 4 認定VCからのコメント

(QB キャピタル合同会社 代表社員 坂本 剛)

北九州市にもものづくり系のスタートアップは数社ありますが、産業用ロボットの中小企業への展開、いわゆる「産業用ロボットを誰でも活用できる世界」という課題に真正面から取り組んでいる唯一のものづくり系スタートアップがKiQ Roboticsです。当社はこれまで培った大学発、リアルテック系スタートアップ支援のノウハウを活用して引き続き支援をしてまいります。



## 「株式会社クアンド」について

### 1 「株式会社クアンド」について

株式会社クアンドは、「地域産業・レガシー産業のアップデート」をミッションに掲げる北九州発のスタートアップ企業です。テクノロジーにより、地域産業・レガシー産業をアップデートし、そこで働くすべての人の豊かな労働を創造します。

### 2 今回の取組について

製造業や建設業、その周辺領域などの現場で働く人々のための遠隔支援コミュニケーションツール「SynQ Remote (シンクリモート)」のマーケットへの適合、販路拡大を目指します。「SynQ Remote」は、現場の作業者と事務所など遠隔地にいる管理者をリアルタイムでつなぎ、ポインタや音声文字変換による遠隔指示、現場写真の遠隔撮影が可能です。今回の事業は市内企業への販売だけに留まらず販売パートナー契約や共同研究開発により事業加速を狙うものです。



### 3 代表からのコメント (代表取締役 下岡 純一郎)

官営八幡製鉄所の高炉に火が入れられて120年。この間、北九州は鉄の産業を基軸にモノづくり都市としての地位を築いてきました。テクノロジーによって産業が大きく変わる時代、「地域産業・レガシー産業のアップデート」を通して“次の100年”の産業基盤の創造を実現していきます。



### 4 認定VCからのコメント

(ALL STAR SAAS FUND ディレクター 前田 ヒロ)

クアンドは「カスタマーサクセス」を体現した組織づくりを推進し、メンバー全員が現場への熱い思いに満ちています。だからこそ、現場と情報の分断をなくし属人化させない仕組みを支える高品質なサービスを広く提供していけるのだと思います。製造業や設備管理業といった日本を支える重要な産業におけるDXを推進する希望の光として、一緒に北九州から世界を目指せることを楽しみにしています。



## 「ザ・ハーモニー株式会社」について

### 1 「ザ・ハーモニー株式会社」について

認知症高齢者の症状の抑止及びその介護者の負担を軽減するためのAIを活用した認知症コミュニケーションロボットの開発と、認知症複合施設を運営しています。

### 2 今回の取組について

北九州市の介護施設におけるAIを活用した認知症コミュニケーションロボットの導入実証を行います。

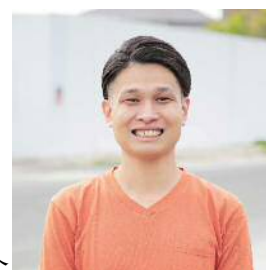
北九州工業高等専門学校や九州工業大学と連携して、実証と改良を繰り返し行い、社会実装に繋げていきます。また、将来的には、海外展開を目指します。



### 3 代表からのコメント（代表取締役 高橋 和也）

弊社はテクノロジー事業部のロボット開発とケア事業部の介護施設運営を掛け合わせ、テクノロジーで代替可能な介護作業を切り離し、人でしかできない本来の介護業務に人が専念できることで認知症に困らない、介護にかかわる全ての人を幸せな社会を実現させてまいります。

また、今回の取組を通して、テクノロジーを駆使した持続可能な介護を日本から世界に先駆けて発信していきたいです。



### 4 認定VCからのコメント

（株式会社ドーガン・ベータ 取締役パートナー 渡辺 麗斗）

認知症は、周囲の人や施設、制度面でのサポートが不可欠な症状です。ザ・ハーモニーの開発するロボットはこの認知症を取り巻く環境をより良くする可能性を秘めており、今回北九州市にてロボティクス/介護への取り組みをご一緒するなかで市販への道筋を付けられるよう、一丸となって事業推進をしてまいります。





## 「株式会社レボーン」について

### 1 「株式会社レボーン」について

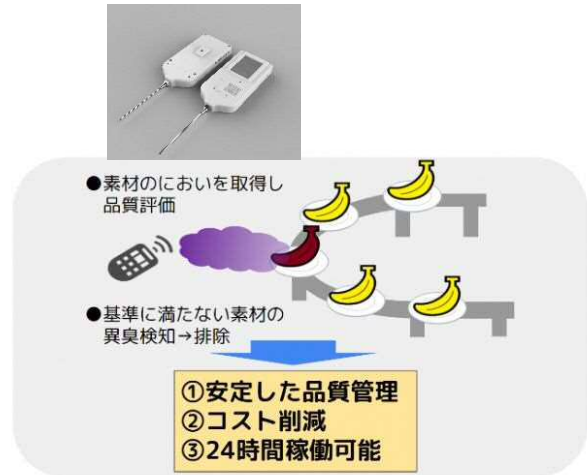
『においの「何となく」をなくす』をミッションに掲げ、独自開発のにおいセンサーと人工知能（AI）により、人間が鼻と脳でにおいを感じている状況を客観的にデータとして捉え、におい情報データを蓄積し、それを様々な分野で活用できるよう、独自開発の「においデータ活用プラットフォーム（iinioi@cloud）」を構築し、ビジネスを展開しております。

### 2 今回の取組について

食品原料のにおいによる品質判定を行うシステムを構築します。

食品業界では人の官能評価が必須になる部分が多く、その事によりばらつきが生じるなどの問題があります。

システム構築とともに、北九州市内の食品企業へビジネスマッチング提案をすすめ、来年度、製造工場へ導入を目指します。



### 3 代表からのコメント（代表取締役 松岡 広明）

「ロボットに何故鼻がないのか」という疑問から弊社は生まれ、嗅覚を再現することで大きな文明や産業が生まれる可能性があると感じました。私自身もエンジニアとして研究を重ねてきて、人の鼻に替わるモノを生み出せる事業が本格的に動き出すことを楽しみにしています。弊社にとって、人類にとって、大きな一歩になると思います。

出身地である北九州市にも貢献出来るよう今後も尽力いたしますので、是非とも応援よろしくをお願いします。



### 4 認定VCからのコメント

（GxPartners 有限責任事業組合 代表パートナー 岸原 稔泰）

レボーン社は北九州市出身で子供のころからロボットの世界大会で準優勝するような優秀な技術者でもある松岡社長が率いる世界で勝負できる可能性のあるテック企業です。独自の嗅覚センサーとAI解析により人間の鼻を再現することで、「におい」に関する巨大な産業を産み出し、そのリーディングカンパニーになる可能性があります。

同じ北九州市出身者として、このような企業の初期から事業の立ち上げに関与できることを大変うれしく思っています。今回の採択を機に更なる飛躍を期待しています。

